



DF・2年 筑城和人 (つゆき かずと)
1984年8月14日生まれ 171cm66kg
清水商業高校出身
好きな選手はダウンガ (元ブラジル代表)
関志溢れるプレーで駒大をサイドから支える

今シーズン最後の大会となる全日本大学サッカー選手権(※以下インカレ)に臨んだ駒大。予選リーグは格下相手とのこともあり、3戦全勝。また大量得点・無失点と順当な勝ち上がりを見せた。決勝トーナメントでは、阪南大、桃山学院大に勝利し、準決勝で前回のインカレ覇者・筑波大と対戦もリーグの雪辱を晴らす勝利で16日の決勝戦まで駒を進める。現時点の失点はわずかに1と好調な守備陣。今回はその原動力である筑城和人と廣井友信がインカレに掛ける思いを語る。

「まず、決勝戦を16日に控えています。チームの状態はいいですか?」
廣井「どう?最初は(正月気分が)抜けきらない部分があったけど、徐々にみんなも意識し始めて、練習も激しくなってきましたね。あとは4年生が最後なんでみんな気持ちが入ってますね。」
「練習を見ていると、4年生の人たちはほとんどきていますね。廣井「そうなんです!もう、みんな。他の学年も来ているけど、特に4年生は年末も、練習もなにに手伝ってくれたり!だから、そういう人たちの分も頑張らないとなってると思います。」
「紅白戦でも激しくやっています。筑城「俺、喋るのは苦手...」
廣井「お前、喋れよ(笑)」
筑城「どうだろう?でも、みんな最後だし、あまり時間もないし、それなりにみんな燃えているんじゃないですか。」

裕輔さんの分も頑張ろうっていうのを合言葉に!

「では、インカレを予選リーグから振り返ってもらいましょう。昨年、決勝で敗れているだけにインカレに掛ける思いは強いと思うのですが?」
廣井「そうですね。今季のリーグ戦がしっかりしなかった。インカレの予選はどうだった?いい感じに入ったんだっけ?」
筑城「たぶん、あまりよくなかったよ。でも、リーグ戦の最終戦で国士館大に勝って終われたってことが、インカレに向けて少しはよかったですね。」
廣井「そうだね!それが繋がってる。とりあえず勝てれば盛り上がるからね!」
筑城「大臣杯のときも、関東選手権が準決勝で負けて、3位決定戦で国士館大に勝って波に乗って

「いこう!みたいな感じで大臣杯優勝したじゃん?今回もそんな感じじゃん?」
廣井「そうだね。まあ、うまくインカレに切り替えて、入っていったかなって。」
「大事な試合、大会の前に国士館で終わるといふのは、なにか感じるものがありますか?」
廣井「俺は出てないんで(笑)!」
筑城「おい!それはダメ(笑)!」



「はポジションが近いのですが。廣井「そうですね。やはり、軸がないのは痛いんですけど、去年からセンターバックは何人かで回ってきてたし、苦しいときや気持ちの勝負のときはわからないですけど、普通にはやれるって思っていたので。でも、ずっと頑張ってきたし、裕輔さんの分も頑張ろうっていうのを合言葉にしてチームが一段とまとまったって、

「今年からインカレの予選がリーグ戦になりましたけれど、特に変わったことはありませんか?」
廣井「いや、俺的には普通に一戦、一戦やっていくだけなんです。筑城「リーグってあんまり考えなかったよね?」
廣井「考えなかつたよ。目の前に試合に負けたくないからって。勝てばいいや!みたいな。」
「中2日っていうスケジュール的にはコンディションはいいか?」
廣井「俺は、1試合目と3試合目しかでてないんで、きつはなかつたんですけど、そこは筑城さんがね!(笑)」
筑城「そんなに問題はないと思いましたが。みんな、練習とか激しくやっていますし。」
廣井「層が厚いからね!誰がでてもとりあえず大丈夫なんです。あとは核の選手がどうなるかだけだね。」

「予選は順当な勝ち上がりになりましたか?」
廣井「結果だけだよ。課題は結構見えたし。」
筑城「うん。」
「具体的には?」
廣井「やっぱり、決定力不足だよな!」
筑城「ねえ!課題が見えたって何も思い浮かんでないでしょ(笑)!」
廣井「だって、点とられてないし、点とってるし!」



PROFILE
DF・2年 廣井友信 (ひろい ともぶ)
1985年1月11日生まれ 180cm74kg
前橋育英高校出身 U-20日本代表候補
好きな選手はC・フジョル (バルセロナ)
一対一に絶対的な強さを持つセンターバック

「筑城「まあね。でも、前からプレスがかからなかつた。」
廣井「そうそう。」
筑城「それに、無失点で予選は終わったけれど、相手が外してくれなかった。相手もあつたし。なんか、スツキリはしなかつたよね?」
廣井「そうですね。とりあえず勝って、トーナメントだ!みたいな。」
「それから、決勝トーナメントは、一回戦から関西勢が続いたのですが、なにかやりずらいこととかはありましたか?」
筑城「俺的には、逆に相手が強いと最初から気持ちも入ってきて。廣井「確かに。気を抜かないでこれたよな。」
「二回戦の桃山学院大は、大臣杯でも対戦していますが、夏とは違う感じがしましたか?」
廣井「俺、夏出てないからわからない(笑)」
筑城「ディフェンスとしては、夏にセットプレーで2失点してたからそこは気をつけているよ。」
「あとは関西のチームは結構、繋いでくることが多いから速いプレーしていけば、でも、やられて負ける気はしなかつたですね。」
「一回戦の阪南大戦ではスローインから失点してしまいましたけど、ディフェンスのお二人としては?」
筑城「そこはね、廣井くんがやってくれましたから(笑)」
廣井「間違いないんだよ、そこは!でも、前が頑張ってくれたの